

- 広島，2004，5.
- 八木澤瑞穂，石戸谷淳一，佐久間康德，野沢昭典，佃 守：上顎洞血腫の成因に関する組織学的検討．第43回日本鼻科学会総会，東京，2004，9.
- 八木澤瑞穂，石戸谷淳一，松田秀樹，佃 守：難聴を主訴とした側頭骨軟骨肉腫の一例．第14回日本耳科学会総会，京都，2004，10.
- 佐藤奈央，山本 馨，佐久間康德，高橋優宏，廣瀬正二，木村真知子，香取秀明，石戸谷淳一，佃 守：頭頸部の neuroendocrine carcinoma の3例．第128回日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会，横浜，2004，6.
- 森脇義弘，古川政樹，杉山 貢：卒後臨床研修医制度第1期生を迎えて．第66回日本臨床外科学会総会特別シンポジウム（2）第一期生を迎えた卒後臨床研修医制度，盛岡，2004，10.
- 長谷川修，古川政樹，杉山 貢：医療関係者インシデント増加に対する職員コミュニケーション教育．第42回日本病院管理学会，熊本，2004，11.
- 古川政樹，杉山 貢，松瀬 健，長谷川修，岡田共子，鈴木久美子，鈴木治美，天内 廣，金子 彰，後藤英司，根本明宜，大久保雅司：e-Learning を利用した医療安全管理対策，第24回医療情報学連合大会（第5回日本医療情報学会学術集会），名古屋，2004，11.
- 古川政樹，長谷川修，鈴木範行，松瀬 健，今田敏夫，杉山 貢：Medical e-Learning を使った研修医教育システム，第12回横浜臨床医学会学術集談会，横浜，2004，12.
- 石戸谷淳一：好酸球性副鼻腔炎の病態と治療．第2回気道アレルギー疾患シンポジウム，仙台市，2004，1.
- 石戸谷淳一：聴覚・言語障害の生理・病理．独立行政法人国立特殊教育総合研究所短期研修（聴覚障害教育コース）．特殊教育研究所，横須賀市，2004，2.
- 石戸谷淳一：好酸球性副鼻腔炎の病態と治療．第9回石川県鼻アレルギー研究会，金沢市，2004，2.
- 石戸谷淳一：難治性副鼻腔炎とアスピリン不耐症．横浜市立大学リカレント講座「治りにくい免疫アレルギー疾患に挑む」．横浜市立大学よこはまアーバンカレッジ，2004，2.
- 石戸谷淳一：好酸球性副鼻腔炎の病態と治療．第12回鹿児島アレルギー懇話会，鹿児島市，2004，2.
- 石戸谷淳一：春を快適に過ごすために—花粉症で悩まないためのアレルギー性鼻炎の知識—．メディカルセミナー神奈川，横浜市，2004，3.
- 石戸谷淳一：慢性副鼻腔炎に対する最近の考え方と治療の実践．第1回サイナスシンポジウム，横浜市，2004，5.
- 石戸谷淳一：好酸球性中耳炎の病態と治療．第31回日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会定時総会 特別講演，横浜市，2004，6.
- 石戸谷淳一：上気道感染症における最近の話題．メイクト発売10周年記念講演会 教育講演，横浜市，2004，10.
- 香取秀明：頭頸部進行癌に対する Docetaxel, Cisplatin, 5-FU (TPF) 併用同時放射線療法の検討．第9回頭頸部化学療法研究会，品川，2004，1.
- 古川政樹：頭頸部外科領域の超音波診断—転移リンパ節を中心に—．第16回日本喉頭科学会ランチョンセミナー，松山，2004，3.
- 古川政樹：頭頸部の超音波診断．日本超音波医学会第3回教育セッション，宇都宮，2004，5.
- 古川政樹：超音波ガイド下穿刺吸引細胞診．第13回北里大学耳鼻咽喉科研究会，相模原，2004，10.
- 古川政樹：情報科時代の医療—耳鼻咽喉科におけるメリット・デメリット 遠隔医療．第18回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会，岡山，2004，11.
- 石戸谷淳一：人工内耳について．メディカルスタジオ・みんなの健康．テレビ神奈川，2004，2.
- 石戸谷淳一：花粉症．神奈川新聞，2005，1.

（研究助成金）

古川政樹：21世紀の安心・安全の医療をめざす研究・活動への助成（2004）横浜市立大学医学部同窓会俱進会，50万円。

放射線科

（論文発表）

Sekikawa Z, Takebayashi S, Kurihara H, J Lee, Niwa T, Kawamoto M, Yamamoto T, Suzuki J, Sugiyama M, Inoue T: Factors affecting clinical outcome of patients who undergo transcatheter arterial embolization in splenic injury. The British Journal of Radiology, **77** (2004): 308–311.

（学会発表）

関川善二郎，竹林茂生，栗原宏明，濱口真吾，川本雅美，

井上登美夫：内因性心肺停止患者の頭部 CT 所見の検討．第63回日本医学放射線学会学術発表会，横浜，2004，4.

栗原須生美，金原一弘，渡井喜一，井上登美夫：TBI 患者の予後について．第19回横浜放射線治療懇話会，横浜，2004，5.

栗原須生美，金原一弘，渡井喜一，井上登美夫：集学的治療が奏功した巨大頸部リンパ節転移のある上咽頭癌

の一例. 第21回横浜放射線治療懇話会, 横浜, 2004, 11.

歯科・口腔外科・矯正歯科

(論文発表)

菊池良直, 大村 進, 河原日登美, 齊藤友克, 海野 智, 藤田浄秀: Strawberry gum が診断の契機となった Wegener 肉芽腫の1例. 日口外誌, **50**: 550-553, 2004
河原日登美, 大村 進, 福山英治, 関洋一郎, 齊藤友克, 海野 智, 藤田浄秀: Le Fort I 型骨切り術のための CT による下行口蓋動脈の走行位置の解剖学的検討. 日顎変形誌, **14**: 18-25, 2004.

(学会発表)

大村 進: Le Fort I 型骨切りによる中顔面へのアプローチ. 日本口腔科学会総会, ミニシンポジウム「顎変形症に対する中顔面でのアプローチ」横浜, 2004. 5
Seki Y, Fukuyama E, Omura S, Soma K: Consideration for Surgical Orthodontic Treatment: Case Reports. 24th Myanmar Dental Conference, Yangon, Myanmar, 2004, 1.
齊藤友克: 睡眠時無呼吸低呼吸症候群—歯科口腔外科の立場から—. 平成15年度市民総合医療センター口腔外科との交流会. 横浜, 2004, 2.
太田信介: 歯科領域におけるケテック錠の使用経験. 平成15年度市民総合医療センター口腔外科との交流会. 横浜, 2004, 2.
福山英治, 鳥飼勝行, 大村 進, 藤田浄秀, 相馬邦道: Inter-dental distraction と Le Fort I 型 distraction を併用した唇顎口蓋裂の1例. 第14回日本顎変形症学会総会. 福岡, 2004, 5.
関洋一郎, 鳥飼勝行, 福山英治, 大村 進: 顎間固定とともに上顎片側垂直的骨延長を施行した Marfan 症候群顔面非対称の1例. 第14回日本顎変形症学会総会. 福岡, 2004, 5.
福山英治, 大村 進, 河原日登美, 関洋一郎, 太田信介, 海野 智, 藤田浄秀, 相馬邦道: Klippel-Trenaunay-Weber syndrome と診断された著しい顔面非対称の1例. 第14回日本顎変形症学会総会, 福岡, 2004, 5.
河原日登美, 大村 進, 福山英治, 関洋一郎, 太田信介, 高須 曜, 海野 智: 上下顎移動術を施行した下顎前

突症患者の顔面骨格の特徴—下顎単独症例との比較

一. 第14回日本顎変形症学会総会, 福岡, 2004, 5.
高須 曜, 大村 進, 福山英治, 関洋一郎, 太田信介, 河原日登美, 海野 智: CT による下顎枝下顎管の構造とセファロ分析による下顎骨形態の特徴の関連性の検討. 第14回日本顎変形症学会総会, 福岡, 2004, 5.
大村 進, 福山英治, 関洋一郎, 太田信介, 河原日登美, 海野 智: 中顔面の陥凹に対する Le Fort I 型骨切り術—咬合平面の時計廻り回転と上顎洞前壁温存の効果一. 第14回日本顎変形症学会総会, 福岡, 2004, 5.
府川俊彦, 鳥飼勝行, 小林眞司, 大村 進, 福山英治: 中顔面部の劣成長を伴う両側性唇顎口蓋裂症例に対する Le Fort I 型骨切り術の経験. 第14回日本顎変形症学会総会, 福岡, 2004, 5.
鳥飼勝行, 安村和則, 長西裕樹, 大村 進, 福山英治, 関洋一郎: 硬口蓋と下鼻甲介を採骨部位とした顎裂部一次骨移植術. 第28回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島, 2004, 4.
鳥飼勝行, 高橋卓也, 三上太郎, 長西裕樹, 大村 進, 福山英治, 関洋一郎: 両側口唇口蓋裂に対する一期手術. 第28回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島, 2004, 4.
府川俊彦, 鳥飼勝行, 小林眞司, 大村 進, 福山英治, 高橋卓也, 笠井久美子, 山崎安晴: Le Fort I 型骨延長術を施行した両側口唇口蓋裂の中間顎欠損症例. 第28回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島, 2004, 4.
福山英治, 鳥飼勝行, 大村 進, 藤田浄秀, 相馬邦道: 著しく広範な顎裂と叢生を伴う口唇口蓋裂—連続的な歯列弓獲得のための歯槽骨延長と上顎骨延長の併用一. 第28回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島, 2004, 4.
福山英治, 大村 進, 藤田浄秀, 相馬邦道: 治療期間の短縮をはかった成人下顎前突症例—Asymmetrical rapid palatal expansion と Corticotomy の併用—. 第63回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2004, 11.

麻酔科

(論文発表)

Kurahashi K, Ota S, Nakamura K, Nagashima Y, Yazawa T, Satoh M, Fujita A, Kamiya R, Fujita E, Baba Y, Uchida K, Morimura N, Andoh T, Yamada Y: Effect of lung-pro-

TECTIVE ventilation on severe Pseudomonas aeruginosa pneumonia and sepsis in rats. Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol, **287**: 402-410, 2004.

小出康弘: 心筋症の病態と周術期管理. LiSA, **11**(8):